



「多様性」から深められる 学びと経験

地域おこし協力隊として、同じ時期に観光課に所属となった吉川さんが中心となって開催している体験教室「つばめ学級」。私は、幼稚園や小・中学校で英語を教えていた経験を活かし、異文化体験 DAY を実施しました。午前中は世界とつながる楽しさや海外に関わる職業などを紹介。子どもたちは、自分の名前を英語で書いたり、英語での簡単なあいさつや自己紹介の練習をしたりしました。午後は柳川高校の生徒の皆さんと英語でゲームをしたり、一緒におやつを食べながら話したり、遊んだり盛りだくさんの内容。最後の質問タイムは大いに盛り上がり、子どもたちは異文化を身を持って体験しました。

語学を学ぶと、外国の文化にも触れることができ、新しい発見につながります。こうした人とのふれあいを通じた言語・文化を学ぶ機会によって、子どもたちが多様性を知り、受け入れるきっかけになればうれしいです。



平原 真紀子 (43歳)

【プロフィール】市観光課に所属。着地型観光事業や観光振興・誘客支援事業を担当